

氷見市民の皆様へ

8月27日から28日にかけて氷見市を突如襲った大雨から間もなく1か月が経過しようとしております。

被災された皆様、現在も避難を余儀なくされている皆様におかれましては、今もなお不安なお気持ちでお過ごしのことと思います。まずは心よりお見舞い申し上げます。

この1か月間、応急復旧などに迅速な対応をいただいている建設業の皆様、心身ともに疲弊した被災者の方々に寄り添って活動をいただいている多くのボランティアの皆様をはじめ、消防団、自主防災会、地区の役員の皆様など、ご尽力いただいている全ての方々に、心から感謝申し上げます。

また、国、県、他市町村等からも多くの職員の方々が応援に駆けつけてくださっていることに対しまして、厚く御礼申し上げます。

私自身、発災直後から被災箇所を確認させていただいておりますが、本当に大変な被害であることを実感しており、被災された市民の皆様の日常を、一日も早く取り戻さなければならないという決意で復旧・復興に取り組んでおります。

このたび、9月市議会定例会において、被災者への生活確保の支援、道路等の応急的な復旧工事や修繕、地域産業の復旧支援などに必要な補正予算（総額35億3,849万円）をお認めいただいたところです。

能登半島地震から2年8か月が経過し、復旧・復興の途上において再び大きな災害に見舞われた本市ではありますが、この二重の大規模な災害に直面している中で、それでも立ち向かおうとして頑張っておられる市民の皆様のため、いかなる難局であろうとも、市全体が一丸となって、本市の新たな夜明けへとつながる「創造的復興」に、全力で取り組んでまいります。

令和8年9月25日

氷見市長 菊 地 正 寛